

第 5 回うるま市地域公共交通会議
【令和 4 年度 第 1 回】
議事録

日時：令和 4 年 6 月 2 7 日（月） 1 4 : 0 0 ~

場所：うるま市役所 東館 3 階 大会議室

開会

1. 会長挨拶

【会長】	挨拶	梅雨も明けて暑い日が続いているが、多くの委員にお集まりいただき感謝申し上げます。昨年度から、公共施設間連絡バスおよびデマンド型乗合タクシーの実証運行にご協力いただきありがとうございます。今年度も実証運行を予定している。本日の交通会議においてもご意見を賜り、実証実験に反映させていきたい。
------	----	---

2. 委員出席の確認・会議の成立・開会の宣言

【会長】	出席の確認	次第 2. 委員出席の確認について、事務局より報告をお願いします。
【事務局】	報告	本日の委員の出席状況を報告いたします。 委員会委員 25 名中名、出席者は 23 名です。 野原委員、玉城委員、については欠席の連絡をいただいている。
【会長】	会議の成立	本日は、委員 25 名中 23 名が出席しています。委員の過半数以上が出席となりますので、うるま市地域公共交通会議設置要綱規則第 6 条第 1 項の規定により、会議が成立します。
	署名委員指名	会議録署名委員の指名についてですが、会議録署名委員は輪番制でお願いしたいと思います。 今回の会議録署名委員は「普久原委員」と「濱端委員」を指名しますが、宜しいでしょうか。 《両委員了承》 後日、事務局がまとめた会議録の確認と署名をお願いします。

3. 議事・報告

【会長】	進行	「実証 A および実証 B」について事務局より説明を受けた後、ご意見等ございましたら、伺いたいと思います。事務局より説明をお願いします。
【事務局】	説明	《 議事説明 》
【会長】	進行	ただいまの事務局の説明について、ご質問・ご意見等はございませんでしょうか。
【委員】	質疑 応答	《 質疑・回答 》 実証 A は公共施設間連絡バスという名称だが、今は市民の移動を担っているということなので、名称は今後変更しないのか。 P8 外出していなかった方が外出するようになったということはいいことだが、路線バスからの転換も見られるため、サービス間の調整についても重きを置いて検討いただきたい。
【事務局】		名称は実証運行中のため現在のままの名称としているが、今後、名称変更は検討していきたい。 2 つ目の質問については、路線バスとの競合を避ける形で、路線またはダイヤ、運賃の面でも競合を招かないように調整していきたい。また、家族の送迎からの転換もあるため、自家用車からの転換となる。このような転換も推進していきたい。
【委員】		詳細データ P20、調査を実施した 2 日間の傾向が大きくことなるので平均的なデータとしてみていいのかという問題はあるが、公共施設間連絡バスは通勤通学ではなく、通院や買い物がターゲットであると思う。その観点から、高齢者や障害者の方が病院等に通えるようになった、集まりごとに行けるようになった、などの評価をしたうえで、路線やダイヤを検討したほうがいいのか。 支払い意志額についてはアンケートで聞いているが、行政負担として運行にどれくらいの費用をかけてもいいか、という計算もできると良い
【事務局】		具志川～石川線については、東山地区はこれまで通っていなかった。東山地域は 20～30 年前に開発が行われた地域であり、高齢化が進行していることと、傾斜が厳しいことからルートに入れて実証を行った。データでみると、東山地区から商業施設への利用も見られた。ただし、このエリアは石川タクシーの営業範囲内であり、ヒアリングを行ったところ、極端に東山地区からの利用が減少しているわけではないということであった。また、ルートが片回りのため逆方向は遠回りになる方もいる。そのため、タクシー利用も誘発されるのではないかと考える。 運賃や負担額についても今後検証を行っていきたい。検証にあたっては神谷委員へ相談したい。
【委員】		最初の意見は定量的には出しにくいですが、成果には載せていただきたい。
【委員】		実証 A についてはシルバー人材センターを活用して無償運行しているというこ

	<p>とだが、運転手は二種免許を保有しているのか。今年度の実証も同様の形態を継続する意向か。ずっと無償で運行するという事は厳しいことと思う。既存の交通事業者も存在するため、将来の運行形態についても検討をいただきたい。</p> <p>実証 B についてはミーティングポイントが不便で自宅まで来てほしいという意見であった。ただそうするとタクシーに近くなってしまう。どのように解決していくか。</p>
【事務局】	<p>実証 A について、合併後の庁舎間連絡バスが無償運行を行ってきた。実証運行の中では無償運行としてきたが、今後は難しくなることを予想している。二種免許を必須とはしていないが、保有している運転手もいる。運行路線については、既存のバス路線とは異なるルートを行わせるようにしている区間もある。ただ、与那城と具志川間を直行利用しているという傾向があり、地域間の利用は路線バスと重複していることが確認できた。</p> <p>実証 B についても、既存の公共交通で難しい部分については、タクシー事業者やバス事業者と共に検討していきたい。</p>
【委員】	<p>既存の輸送サービスとの役割分担が難しいところ。自家用車がシフトすることが望ましいことであるが、バスからタクシーからの転換も見られる。持続可能性という意味では新たな需要を掘り起こしていく必要がある。今後も新たな需要を掘り起こすような取り組みを継続してほしい。</p> <p>実証 A・B とも、走らせる目的が何なのか明確にする必要があると思う。どなたのために運行して、どの程度のコストがかかっているのか、それを市民に説明して理解を得ることが必要である。</p> <p>もう 1 点、運行ルート見直し案についてはこの場で議決を行うものかどうか確認をしたい。</p>
【事務局】	<p>運行ルートのたたき台については、今回の協議会でたたき台として承認をいただければ、9 月以降のルート変更に進めていきたい。ルートの詳細な部分については事務局に一任いただきたい。</p> <p>運行の目的について、合併後の不便解消のため庁舎間連絡バスを運行し、その後、高齢者の移動支援のために公共施設間連絡バスとしてきた。今後は、より市民の移動を支援するための運行としていきたいと考えており、受益者負担を伴う有償のコミュニティバスとして本格運行に移行していきたい。</p>
【事務局】	<p>警察署から、運転免許返納しやすくなる環境についてもアンケートをしていただきたいのご意見をいただいていたので、参考資料について説明する。</p>
【委員】	<p>バスとタクシーが補えない部分を、というご意見があったが、タクシーが補えない部分とは何かと考えると、運賃の部分が考えられる。運賃の部分をデマンド交通が補えるのか。</p>

【事務局】		運賃施策としてタクシーチケットのような方策も考えられるところではある。しかしながら、なかなか公共交通利用として定着しにくい可能性も考えられ、できるかぎりマイカーから公共交通に転換してもらえるような施策を考えていきたい。
【委員】		ちょこっとぶらりチケットはタクシー事業者としてはありがたい施策だった。タクシーの乗車が増えればデマンド交通は不要になるのでは。正直な思いとしては、もう少しデマンド交通を利用してもらいたかった。乗務員も暇を持て余してしまった。タクシー事業者としてもいい方策を考えていきたい。
【事務局】		今回は交通不便地域の特性を考えてデマンド交通を実証したが、実証期間が短かったこともあるが、あまり利用が定着しなかった。交通不便地域の定義があいまいな部分もあるので、これらを明確にしながらい運賃施策での対応も検討していきたい。
【会長】	議事 進行	他にご質問等ないので、 次の議題に移りたいと思います。

4. その他

【会長】	説明	
【事務局】 【市社会福祉協議会】	説明	《 議事説明 》 下原地区の公共交通ニーズについて説明
【会長】	進行	ただいまの説明について、ご意見等はありませんでしょうか。
【委員】	質疑 応答	運転免許を返納しやすい環境になるために、ということで意見を述べているところだが、高齢運転者のサンプルがまだ少ないように感じる。アンケートで終わらせるのではなく、スーパーなどにやってくる高齢ドライバーにもアンケートしてほしい。
【事務局】		今回の業務の中では施設でのアンケートは実施できなかった。今後、社会福祉協議会等とも連携しながら情報収集していきたい。
【委員】		庁舎間連絡バスとデマンドの中だけでは議論できない話であるので、今後の公共交通計画を検討していくうえでの議論だと思う。高齢者がバスを利用しない理由の1位がバスのステップだとする地域もあった。高齢者の移動手段を変えるというのは時間がかかることである。もっと長い期間をかけて実証してほしい。 庁舎間連絡バスで庁舎間の宅配物の輸送も行えないか。バス自体に他の目的を持たせることも考えてほしい。

5. 事務連絡

【事務局】	説明	今回ご協議いただいた実証 A については、9 月ごろからのルート変更を予定して
-------	----	---

	おり、次年度以降の本格運行を検討している。また、今年度は津堅島での実証運行も予定しており、交通会議で協議いただきたい。
--	---

6. 閉会

【事務局】	以上を持ちまして、本日の第5回 うるま市地域公共交通会議を終了いたします。長時間にわたり、活発なご意見、慎重なご審議ありがとうございました。
--------------	--